

医療現場の力に

村民が安心して暮らすためには、医療現場の感染症対策は必須となります。

村では、新型コロナウイルス感染症への不安と隣り合わせながら日々医療や介護現場で対応にあたっている医療法人誠励会に、サージカルマスク3万3千枚を贈呈しました。

贈呈式は9月7日、ひらた中央病院で行われ、澤村和明村長から佐川文彦理事長に目録が手渡されました。式の後には、一刻も早い終息に向け、力を合わせて乗り越えていけるようにと意見交換が行われました。



澤村村長と佐川理事長

またこの日は、花あるひらた村づくり委員会から医療法人誠励会への寄附金贈呈式も行われました。

あじさい園・ゆり園の入園料の一部を「村のために、特に最前線で頑張っている医療機関の支えとなるように」と、渡部高一委員長から佐川文彦理事長へ100万円が手渡されました。



渡部委員長と佐川理事長

村民が一丸となって、新型コロナウイルス感染症に向き合い、助け合っています。

これからもしっかりと対策し、皆で感染リスクは避け、もし感染した場合も的確な対応を行っていきましょう。

避難所設営訓練

各地で大規模な災害が多発している昨今、緊急時の避難場所の確保はとても重要です。そして今後は、感染症のリスクケアも考慮していかなければなりません。

村役場と社会福祉協議会の職員による、感染症を考慮した避難所の設営訓練が9月24日、勤労者体育センターで行われました。

本番を想定した設営や模擬演習を行い、受け入れ時の検温や問診の流れを確認しました。

村では、国の交付金により段ボールベッドや簡易式トイレなどの必要備品を新たに購入しました。緊急時・災害時に住民を守るように体制を整えています。

災害はいつ起こるか分かりません。自身や家族を守るためにも、最低限の備えを行っておきましょう。



ドライブスルー式で検温



設置備品の説明や確認

特別敬老祝金贈呈

9月に100歳になった方です

坪井 ハナさん(西山二)

【元気の秘訣】

自分でできることは自分でやる。
規則正しい生活。野菜づくり。



ひらた清風中学校

各競技で好成績を残す!

JOCジュニアオリンピックカップ全国中学生陸上競技大会2020福島県予選会が8月29日〜30日、あいづ陸上競技場で開催され、砲丸投げで好成績を残しました。

また、県中県南中学新人陸上競技大会が9月5日〜6日、郡山ヒロセ開成山陸上競技場で開催され、各種目で県大会出場の切符をつかみ取りました。

各大会の結果は次のとおりです。(敬称略)

【ジュニアオリンピック福島県予選】

●砲丸投げ

女子 1位 鈴木 嶺菜 れいな 11m04cm
男子 7位 小野 大輝 だいき 10m25cm

【県中県南中学新人陸上競技大会】

●1年男子走り幅跳

1位 阿部 勝成 かつしげ 5m01cm

●1年男子砲丸投げ

1位 舘 諒弥 りょうや 7m69cm
2位 吉田 昊生 こうせい 6m90cm

●2年男子砲丸投げ

1位 小野 大輝 だいき 10m76cm
4位 大竹 裕大 ひろと 7m18cm

●共通男子走り高跳

8位 佐藤 慎太郎 しんたろう 1m35cm



笑顔で表彰(卓球部)

9月12日には中体連石川支部秋季卓球大会が開催されました。結果は次のとおりです。(敬称略)

団体戦 2位 ひらた清風中
個人戦 1位 阿部 穂佳 ほのか

6位 大寺 奈々絵 ななえ
8位 吉田 楠奈 なな